

## 美術の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高めます。
- (2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばします。
- (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高めます。

## 評価の観点・方法

### 【評価の観点】

美術では、次の4つの観点で学習の評価をします。

- ① 知識・技能
- ② 思考力、判断力、表現力
- ③ 主体的に取り組む態度

### 【評価の方法】

- ④ 授業中の取組、作品づくり計画性、作品の提出状況、道具や材料等の準備、授業の約束を守り学習の姿勢を評価します
- ⑤ 造形形的な技能、鑑賞の能力などを評価します。
- ⑥ 一人一人の個性に応じた評価をします。(作品づくりの計画と振り返り(自己評価)などで学習成果を積み重ねていきます)

## 特色ある学習方法

- ① 造形活動への興味・関心が高まり、楽しく美術の活動に取り組み、活動の喜びを味わえるような題材を設定します。
- ② いろいろな造形活動を通して、造形能力の基礎を養うと共に、多様な造形表現に興味・関心をもてるような学習を工夫します。
- ③ ビジュアルコミュニケーション能力(視覚的に伝達する能力)を身につけ、美術を生活の中で生かし、生涯にわたって美術を愛好する心を育てます。

### 【共通事項】

- ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。
- イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 「美術科オリエンテーション」 「造形表現の基礎」 造形的な感覚、形や色について深めるための基礎的な学習をする。  2 「私だけの風景」(風景画) 3年間過ごしてきた学校の中で、心に残る風景を見つけ、風景画の作品に仕上げる。	●美術科の学習の仕方を学ぶ。 造形表現の基礎的な能力を身につける。 ○描くこと・つくることの楽しさ ○造形表現の基本  ●風景を描くと共に、そこに生き、活動してきた自分を感じさせる風景画を描く。 ○心に残る風景とそこで生活してきた思い出をかたちに表す。 ○絵画における遠近法の基礎
2 学 期	3 「出来事の風景・出来事のかたち」 多様な立体表現、多様な彫刻表現について学ぶ。  4 「視覚に訴えて伝達する」 視覚伝達デザインによる表現の世界を知り、ビジュアルコミュニケーションのよさを学ぶ。  5 「美術の歴史」(鑑賞) 美術が歴史の中で多様に変遷し、洋の東西を超えて互いに影響し合い、人間の豊かな造形文化を生み出してきたことを学ぶ。	●身近な生活の中の出来事に目を向け、その出来事を風景の中に置き、立体表現をしていく(風景彫刻)。 ○身近な生活の中の出来事が空間の中で起きていることに着目し、立体表現を試みる。 ○軽量粘土の特徴を生かして形づくり、その他の材料との組み合わせや色合いを工夫する。  ●視覚伝達デザイン(ビジュアルデザイン)の意義を知り、ビジュアルコミュニケーションの方法について学ぶ。 ○マークやロゴ、パッケージデザインなど ○ビジュアルコミュニケーションの表現による小作品の制作を行う。  ●古典から現代まで、美術史に残る画家たちの作品に触れ、人間の歴史の中の美術について知る。 ○美術は個人的なメッセージ、心象の表現のみならず、社会へのメッセージを伝えるためのもの、コミュニケーションとしての美術について学ぶ。
3 学 期	6 「行き交う線～スクラッチ画～」 線描を手がかりにスクラッチによる想像表現を学ぶ。  7 「伝統工芸に触れる～鴻巣「赤物」づくり～」 地元鴻巣に受け継がれる「赤物」づくりに学び、伝統工芸のよさに気づく。	●線を集めて描くハッチングの方法により、スクラッチボードに想像表現していく(想像画)。 ○ハッチングによる表現 ○想像表現の楽しさ  ●地元鴻巣に受け継がれる「赤物」づくりに学び、おがくずを糊で固め、うるしで赤く着色する伝統的な技法を知る。 ○身近な材料を駆使してつくった先人の知恵に学び、これから生きる自分たちの心と伝統とを繋げていく。